

いれあい

2012

8

No.305

牛久愛和総合病院 広報誌



COPDってなに？

内科医長 藤繩 学



近年、分煙化が進み周囲を見回しても喫煙家がめつきり減ったように感じますが、平成23年喫煙調査によると成人男性の喫煙率はまだ37・0%（2・5人に1人）もあり、世界主要国の大タバコ消費量ランキングではなんと第4位でした。まだまだ喫煙王国の日本ですが、別名『タバコ肺』といふ病氣があることををご存知ですか？タバコが原因で肺や気管に炎症が起り、肺が潰れてしまったり、空気の通り道である気道が狭くなる病氣で、本名を『COPD（慢性閉塞性肺疾患）』と言います。

空気の出し入れが難しくなるため呼吸がしにくくなり、慢性的な咳や痰が生じることが特徴ですが、気管の炎症が主で咳や痰の症状が長い期間続く状態を「慢性気管支炎」、炎症が進んで肺の中の風船（肺胞）が壊れてしまった状態を「肺気腫」と言います。COPD患者さんの90%以上に喫煙歴があり、長期喫煙者の7人に1人がCOPDになるとされています。COPDは平成20年日本における死亡原因で第10位、特に男性では第8位であり、WHO（世界保健機関）の統計によると、心血管疾患や脳血管疾患による死亡率は減少しているのに対し、COPDによる死亡率は年々増加して、2020年には死亡原因の第3位になることが予想されています。現在、日本でCOPDと診断されている患者さんは22・3万人ですが、実際は500万人以上のCOPD患者さんがいると推定されており、多くの患者さんが診断されていないで十分の治療を受けているのが現状です。

COPDは治療することにより病氣の進行を遅らせ、息切れ等の自覚症状を軽くし、運動能力を高めることができます。早期に発見し治療を開始することが非常に重要であるため、40歳以上まで喫煙歴があつて、咳や痰が続く、階段で息切れがするなどの症状がある人は、早急に肺機能検査を受けることをお勧めします。

そう、あの息を思いつきり吸つてえ、吐いて吐いてえ、いうあれです。肺機能検査でCOPDは容易に発見することが出来ます。

COPDの治療の第一歩は何よりもまず禁煙です。禁煙は呼吸機能の低下を抑制し、死亡率を減少することも証明されています。また、インフルエンザワクチン接種がCOPD死亡率を50%低下させることが報告されており、すべての患者さんに接種が勧められます。その他、気管支を広げる作用の薬（気管支拡張薬）を吸入する薬物治療や呼吸リハビリテーションが重要であり、病期が進行して普通の呼吸で酸素を十分取り込めない状態になると在宅酸素療法の適応となります。わが国ではCOPD患者さんが喫煙し続けると症状は悪化の一途をたどります。COPD患者さんはCOPD患者さんが喫煙し続けると健康な人と同じ生活を送るとも可能ですので、早急に禁煙に取り組みましょう。

ジエナリック医薬品について その3

薬剤センター科長 中野 一男

今回は医薬品に必ず含まれる添加物についてお話ししたいと思います。（ここでは食品添加物と区別するために医薬品添加物と呼ぶことにします。）医薬品添加物は、製剤化を容易にする、品質の安定化を図る、有用性を高めるなどの目的で医薬品に添加されるものをいいます。用途によって、賦形剤、安定剤、保存剤、緩衝剤、矫味剤、懸濁化剤、乳化剤、着色剤、溶解補助剤、粘稠剤などに分類されます。これらは勿論、製剤の投与量において薬理作用を示さず、無害でなくてはならないという大前提があり、医薬品が使用されるようになつてから長い歴史があります。

現在、医薬品においてはこれらの添加物の情報をすべて公開しています。

ジエナリック医薬品に使用される添加剤についても先発医薬品の添加剤に準拠して製造されるものがほとんどです。また、有効成分とこれらの医薬品添加物との間の安定性を確認するための、接觸安定性試験と呼ばれる試験を実施



熱、湿度、光に一定期間晒し、分解物の有無を検索するもので、ジエナリック医薬品についてもこれらの試験に（まだ）まだたくさんの方の試験があるが無事にパスして患者さんへ処方されることになります。

薬の有効成分を探し出す作業も非常に大事ですが、人体に全く無害の物質を探し出すのも長い歴史が存在しています。（終）

しています。接觸安定性試験

の原理は、有効成分の原末1

に対し医薬品添加物9の割合

でそれを混合し1種類ずつ

すべての添加物について、

熱、湿度、光に一定期間晒し、

分解物の有無を検索するもので、ジエナリック医薬品につ

いてもこれらの試験に（まだ）まだたくさんの方の試験があるが無事にパスして患者さんへ処方されることになります。

『第27回 生活習慣病教室』

テーマ

不整脈・心房細動

日時 9月25日火
14時30分から約一時間

講師

内科部長 阿部 正宏医師

会場 牛久愛和総合病院
B館2階 大ホール

参加費 無料

今日は、不整脈のお話です。事前予約は不要です。興味がある方は、お誘いあわせの上お気軽にご参加下さい。

職員が集まり、審査員や各部署からの質問や意見が活発に交換されました。厳正な審査の結果、優秀演者には次の3名が選出され、7月1日の計15題の発表がありました。大勢の

全体朝礼で表彰されました。

第45回 院内研究発表会開催

6月13日（水）から15日（金）の業務終了後17：30～18：30まで大ホールにて院内研究発表会が開催されました。各部署より、1日5題づつ

計15題の発表がありました。大勢の

職員が集まり、審査員や各部署から

の質問や意見が活発に交換されました。

た。厳正な審査の結果、優秀演者に

は次の3名が選出され、7月1日の

全体朝礼で表彰されました。



◎お問い合わせ先

牛久愛和総合病院 総務課
電話 029-873-3111代

優秀演者

・看護部 B4階 鈴木 由香

「当院の小児科入院時におけるオリエンテーションの現状と今後の課題」
座長 高橋リハビリセンター長、中野薬剤センター科長
審査員 濑口委員長、寺田看護部長、
2日目 岩淵看護師長
3日目 篠崎臨床工学科副科長
中村腎臓内科部長

・看護部 透析センター 井澤 伸拓

「東日本大震災から学んだ、震災対策の取り組み」
・リハビリセンター 大澤 聰弘
「当院におけるロボットスツッハル試験運用報告」

春秋園だより



(春秋園
スタッフ一同)

猛暑が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
さて、今回は七月七日に行つたレクリエーションの様子をご報告したいと思います。六月中旬から、七夕の飾りや願い事をスタッフと一緒に利用者様に作成してもらいました。「難しいわね」と苦戦しながら、折り紙で一生懸命、折られていました。短冊にも、たくさん願い事を書いている方もおり、「願いが叶うといな」など多くの笑顔が、みられました。



当になり、飾りと短冊を 笹の葉に、一人ずつ願いを込めてつけて頂きました。

次回は、春秋園の夏祭りの様子をお伝えしますので、お楽しみに。

部署別対抗体育祭



6月22日に「第2回牛久愛和総合病院部署別対抗体育祭」が開催されました。第1回体育祭が大盛況だったため、2回目の開催を希望する声が多く今回の運びとなりました。当日は18部署・約400名の職員の参加があり、16のチームに分かれて行われました。

部署別対抗の名通り16チームを色別に分け、それぞれのチーム色ハチマキを巻いてのチーム対抗戦となりました。

チーム対抗戦となりました。競技種目は、個人種目の「年代別徒競走」に始まり、パン食い競争や手押し車など多競技でリレーしていく“いろいろ”で、部署内のチームワークが強まつたことでしょう。大人に



間を過ごしました。

次回は、春秋園の夏祭りの様子をお伝えしますので、お楽しみに。

当を歌って、素敵な葉に向かって、お祈りをしました。七夕の歌を歌つて、素敵な葉に向かって、お祈りをしました。

そして、最後に皆様と笹の葉に向かって、お祈りをしました。七夕の歌を歌つて、素敵な葉に向かって、お祈りをしました。

体育祭が始まると、体育館内はチームの趣向を凝らしたユニフォームや応援グッズを揃えての応援合戦で熱気にあふれ、各競技を通して新人スタッフと先輩スタッフとの息の合ったコンビプレーなどで大いに盛り上りました。院長をはじめDrも徒競走や騎馬戦で奮闘し、また着ぐるみ姿でチームを応援するなど大活躍でした。普段の病院業務では見られない楽しい一面が見られたことも新鮮で、とても楽しい体育祭となりました。

敗の力ギとなる「綱引き」「大縄跳び」「ムカデ競争」などの団体種目、かわいいお子様達による「ちびっこレース」、そして体育祭の花形「騎馬戦」や「部署別対抗リレー」など盛りだくさんです。

体育祭が始まると、体育館内はチームの趣向を凝らしたユニフォームや応援グッズを揃えての応援合戦で熱気にあふれ、各競技を通して新人スタッフと先輩スタッフとの息の合ったコンビプレーなどで大いに盛り上りました。院長をはじめDrも徒競走や騎馬戦で奮闘し、また着ぐるみ姿でチームを応援するなど大活躍でした。普段の病院業務では見られない楽しい一面が見られたことも新鮮で、とても楽しい体育祭となりました。

おわりに、体育祭を開催するにあたり、当日の進行にご協力下さった参加者の方々、実行委員として準備を頑張つてくれたりハスタッフのみなさんに深く感謝致します。



《結果》

3位	優勝	準優勝
連合チーム	リハビリチーム	管理事務チーム
A6病棟・ICU		

ベストチーム賞

外来ナースチーム

(文責 リハビリ 植田)

総合避難訓練

6/27

いた短冊や
飾りを笹に
つけまし
た。当日は、
浴衣やじん
べいを着
て、にぎや
かな雰囲気
でした。保
護者の方も

七夕

7/7

子どもたちは願いを込めて書
7月7日。マリアホールで七
夕集会を行いました。

いと願い
識を高め、災害時に迅速な対応
ができる体制を構築していきた
いと思います。(総務課 鈴木)

編集だより

今年も厳しい暑さが続
いています。暑いのは苦
手ですが、夏はやはり青
空が一番ですね。海にバ
ーベキューに夏祭り。み
なさんも熱中症に注意し
ながら夏の暑さを楽しん
でいきましょう。(H・Y)

(保育課 草間)

訓練は通報、初期消火、患者
搬送、避難誘導の手順で行い、
出火病棟のスタッフを中心に順
調に終了しました。7階からの
担架搬送は体力も消耗し、改め
て患者搬送の大変さを認識でき
ました。

日頃から訓練することによ
り、防災への関心・危機管理意
識を高め、災害時に迅速な対応
ができる体制を構築していきた
いと思います。(総務課 鈴木)

病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 504床 (一般445床 医療療養型59床)

施設

敷地 57,911 m² 駐車場 1040台

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター

Tel 029-873-4334

健康増進施設 スポーツリラックス

Tel 029-874-8791

介護老人保健施設 春秋園

Tel 029-870-3100

診療科目

【一般外来】

総合診療科(内科)、消化器内科、内分泌内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、心療内科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、ペインクリニック、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)

【専門外来】

整形専門(股関節、脊椎、スポーツ)
小児科(小児循環器、小児心理)
循環器(心臓血管外科)
形成外科(アンチ・エイジング、レーザー)
皮膚科(レーザー)

